

# 東北大学大学院歯学研究科 インターフェイス口腔健康科学 第36回学術フォーラム

*Forum for Interface Oral Health Science*

## 歯科用コーンビームCT画像による 解剖学的指標の検証

河合 泰輔 先生

日本歯科大学・生命歯学部・歯科放射線学講座

平成20年8月26日(火)17:00～  
歯学部A1セミナー室(歯学部基礎棟1階)

近年、インプラント治療は一般的なものとなり、その診断にはCTや歯科用コーンビームCT(CBCT)などを用いて、三次元的にレシipientサイトの骨の状態を評価することが必要であるとされている。

日本歯科大学では歯科放射線学講座と解剖学講座の様々な連携を行っており、その中でもCBCT画像のマクロ解剖像による比較・検証を行い、これまでいくつかの報告を行ってきた。

今回の講演ではわれわれの施設における、解剖学講座との連携例を具体的に紹介すると同時に、これまで行ってきた共同研究の中で近年死に至る重篤な偶発症に関連して、注目されつつある下顎骨の舌側孔、および審美的な観点から重要である、歯の喪失に関連する切歯管と前方歯槽骨の形態の差異、の二つの指標について解剖学実習用献体や乾燥頭蓋骨を用いて行った検討を中心に話をさせていただきます。

連絡先: 第36回モデレーター 飯久保 正弘(内線 8390)